

保護者向け啓発動画

『LGBTQについて みんなで学ぼう』

活用ガイドブック (教職員用)



LGBTQとは？

L	G	B	T	Q
レズビアン Lesbian	ゲイ Gay	バイセクシュアル Bisexual	トランスジェンダー Transgender	クエスチョニング/クィア Questioning/Queer
女性同性愛者	男性同性愛者	両性愛者	生まれた時に割り当てられた性別と心の性別が一致していない人	好きになる性別や自身の性別が定まっていない状態にある、あるいは意図的に定めていない人
				



多様性はみんなに関わるもの

得意なこと

好きなこと

苦手なこと

嫌いなこと

多様性というのはみんながかかわること




はじめに

保護者向け啓発動画「LGBTQについてみんなで学ぼう」は、保護者の方に性の多様性についての理解を深めていただき、全ての児童生徒が安心して学校生活を送ることができる環境づくりを推進することを目的に作成しました。

本ガイドブックは、動画をPTA活動や保護者会などで活用していただくために、動画活用の展開例、ワークシート、アンケートなどを掲載しておりますので、ぜひ御活用ください。

また、保護者向けの通知文例も掲載しておりますので、広く保護者の方に周知する際の参考にしてください。

さらに、人権教育課のホームページには、性の多様性を尊重した教育の推進に関する教職員用リーフレットや相談対応ハンドブックなども掲載しております。

児童生徒が安心して学校生活を送ることができるように、保護者向け啓発動画「LGBTQについてみんなで学ぼう」を多くの保護者の方に視聴していただきますよう、お願いいたします。

令和7年1月 人権教育課

目次

1	保護者向け啓発動画「LGBTQについてみんなで学ぼう」内容と構成・・・	1
2	内容紹介	
	動画1「LGBTQとは」	4
	動画2「理解者の必要性」	5
	動画3「多様性を尊重することの大切さ」	6
	動画4「安心感を生む環境づくり」	7
	動画5「もし子どもにカミングアウトされたら」	8
	動画6「カミングアウトをした子どもを受け止め、支えるために大切なこと」	9
3	動画を活用するにあたって	10
4	動画活用の展開例	
	基本的な活用の展開例	13
	組み合わせ活用の展開例	14
	発展的な活用の展開例	15
5	各動画のワークシート例	17
6	グループワーク記録用紙（例）	23
7	アンケート（例）	24
8	保護者宛て通知（例）	25
9	性の多様性関連用語集	27
10	人権教育課HP掲載資料の紹介	29

本動画は、YouTube を通じて御覧いただけます。「埼玉県 人権教育課 保護者向け啓発動画」で検索すると、視聴サイトに直接アクセスできます。

保護者向け啓発動画 「LGBTQについてみんなで学ぼう」 内容と構成

- 本動画は、保護者の性の多様性についての理解を深めることで、全ての児童生徒が安心して学校生活を送ることができる環境づくりを推進することを目的としています。
- 本動画では、LGBTQをいわゆる性的マイノリティの総称として用いています。一部、理解しやすいように表現を工夫しています。

動画1「LGBTQとは」(13分52秒)

【ねらい】

性の多様性について基本的な知識を理解します。

【構成】

- ① 性のあり方とは
- ② LGBTQとは
- ③ SOGIとは
- ④ 一人一人の性のあり方は多様である

動画2「理解者の必要性」(13分18秒)

【ねらい】

「アライ」とはそもそもどういった人を指す言葉か、どのような行動をする人を「アライ」というのか、当事者が感じたことを踏まえて理解します。

【構成】

- ① アライとは
- ② アライの必要性について
- ③ 理解や支援のための心遣いとは
- ④ LGBTQ 当事者インタビュー

動画3「多様性を尊重することの大切さ」(12分26秒)

【ねらい】

性の多様性が尊重され他者との違いを認め合えるように、子どもへの伝え方を理解します。

【構成】

- ① 保護者の心構え
- ② 多様性の伝え方
- ③ 多様性はみんなに関わるもの
- ④ 他者との違いを受け止める

動画4「安心感を生む環境づくり」(22分01秒)

【ねらい】

子どもが安心して生活できる環境づくりをするために、日常的に配慮すべき点を当事者が感じてきたことを踏まえて理解します。

【構成】

- ① 日常生活においてLGBTQについての理解を深めるために
- ② 子どもが安心して生活できる環境づくり
- ③ LGBTQ当事者のインタビュー

動画5「もし子どもにカミングアウトされたら」(18分13秒)

【ねらい】

子どもからカミングアウトをされたらどのような言葉をかければ良いのか、当事者が感じたことを踏まえて理解します。

【構成】

- ① 保護者の受止について
- ② 保護者が前向きになる大切さ
- ③ LGBTQに関する社会的な理解
- ④ LGBTQ当事者の子を持つ保護者の方のインタビュー

動画6「カミングアウトをした子どもを受け止め、支えるために大切なこと」(11分05秒)

【ねらい】

子どもからのカミングアウト時にどのように対応し、カミングアウトを受けた後にどのようにサポートするか、当事者が感じたことを踏まえて理解します。

【構成】

- ① 子どもから相談をされたとき
- ② 環境面でのサポート
- ③ 教育現場に携わる方のインタビュー

内 容 紹 介

動画 1 『LGBTQとは』

性の多様性について基本的な知識を理解します。

性のあり方とは



あなたは、自分の性別をどのように捉えているでしょうか。男性だと認識されていますか？女性だと認識されていますか？あるいはそのどちらでもない？どちらでもある？性別の捉え方には、「からだの性」「こころの性」「好きになる性」「表現する性」という視点があり、その捉え方は一人ひとり多様です。

LGBTQとは



LGBTQ とは、「L がレズビアン」、「G がゲイ」、「B がバイセクシュアル」、「T がトランスジェンダー」「Q がクエスチョニングやクィア」を表します。セクシュアリティマップで、様々な性の組み合わせを理解しましょう。また、LGBTQは、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョニングやクィアだけでなく、その他の多数ある性的マイノリティの総称として用いられることが多い言葉です。

SOGI とは



性的指向(Sexual Orientation)と、性自認(Gender Identity)を表している「SOGI」は、当事者だけではなく、すべての方に関わる多様な性のあり方を捉えるうえで大切な言葉です。性的指向や性自認は自己認識であり、周囲の人が決定するものでもなければ、強制されるものでもありません。

一人一人の性のあり方は多様である

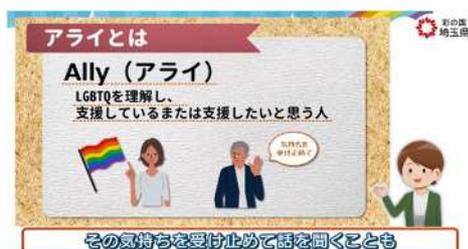


性自認や性的指向は明確に枠にはめて決められるものではなく、一人ひとりグラデーションのように異なっています。どのような人を好きでも、どのように自身の性別を認識していても、それはその人自身が決めることです。一人ひとりが自分らしくいられるように、それぞれの認識を尊重し合うことが大切です。

動画 2 『理解者の必要性』

「アライ」とはそもそもどういった人を指す言葉か、どのような行動をする人を「アライ」というのか、当事者が感じたことを踏まえて理解します。

アライとは



アライとは Ally と書き、英語で同盟や仲間を表す言葉です。そこから転じて、「LGBTQ を理解し、支援しているまたは支援したいと思う人」のことを指す言葉です。LGBTQ 当事者にカミングアウトされたとき、その気持ちを受け止めて話を聞くことも、アライとしての行動になります。

アライの必要性について



今、社会では LGBTQ についての関心が高まり、支援の取組が活発になっています。一方で、周囲の不理解によって、LGBTQ 当事者が過ごしづらさや不安を感じることも多くあります。アライが身近にすることで、LGBTQ 当事者が過ごしやすいと感じたり、悩みや不安を軽減したりすることにつながります。

理解や支援のための心遣いとは



例えば、「男性なら～」という考えや「女性だから～」というような性別を前提とした言葉は適切でしょうか。一人ひとり個人を尊重した「あなたらしさ」を大切にした表現をしたり、LGBTQ 当事者の方から相談を受けた際に悩みを解消できるように一緒に考えたりすることもアライの行動の一つです。

LGBTQ 当事者インタビュー



「保健室の先生に相談したんです」という LGBTQ 当事者の方がいる一方で、「先生に相談しようという発想もなかった」「相談する手立てがなかった」という方も…。理解者として頼りにした人には、どのようにしてほしかったのか。また、日常の大人の行動が与える子どもへの影響とはどういったものなのか。

動画 3 『多様性を尊重することの大切さ』

性の多様性が尊重され他者との違いを認め合えるように、子どもへの伝え方を理解します。

保護者の心構え



性別は男性・女性の二通りだけではなく、多様です。異性を好きになる方もいれば、同性を好きになる方もいます。また、服装や話し方などの性表現も一人ひとり異なります。性的指向や性自認、あるいは性表現は明確に決められるものではなく、一人ひとり異なりグラデーションのようになっています。

多様性の伝え方



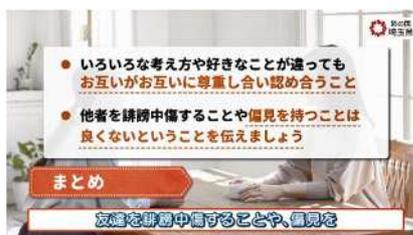
例えば、唐揚げが好きな子どもに「周りのお友達がみんなハンバーガーが好きで、あなただけが唐揚げが好きだったとして、それっておかしいことだと思う？」とか「自分が好きなものは好きでいたいよね」というように、性の多様性の話にこだわるのではなく、食べ物やスポーツなど、子どもがイメージしやすいものに置き換えて話をしましょう。

多様性はみんなに関わるもの



多様性は、LGBTQ に限ったことではありません。例えば、リンゴを食べない子の中には、リンゴが嫌いな子もいれば、アレルギーなどで食べられない子もいます。必ずしも好き嫌いだけが理由なのではなく、いろいろな思いや背景を持っています。育ちや環境などによって、それぞれの価値観があります。そして、あなたも多様な人の中の1人です。

他者との違いを受け止める



「周りの人と違うから」ということで、他の人の考えを否定してよい理由になりません。また、「こういう人は苦手」と特定の人に対して想いを持っている人も、自分が苦手だからといって、誰かを否定して良いことにはなりません。様々な考え方や捉え方があって、それぞれが尊重し合うことで、みんなが気持ちよく過ごせる社会を作ることにつながります。

動画 4 『安心感を生む環境づくり』

子どもが安心して生活できる環境づくりをするために、日常的に配慮すべき点を当事者が感じてきたことを踏まえて理解します。

日常生活においてLGBTQ についての理解を深めるために



日常生活において、「男だから〜」「女らしく〜」といった性別でくるような言葉遣いは、特定の性別についての考えを押し付けることになり、自己肯定感の低下を招く恐れがあります。また、テレビ等でLGBTQに関するものが流れた時の言葉遣いや表現にも配慮が必要です。

子どもが安心して生活できる環境づくり



子どもが話しやすい環境を作ったり、先入観や思い込み、偏見を助長するような言動を控えたりするなどは、子どもが安心して生活できる環境づくりに大切です。子どもは大人の行動や発言、雰囲気などをよく見て感じており敏感に察知します。大人が肯定的な言葉を発し、それが積み重なることで子どもの自尊心を高めることに繋がります。

LGBTQ 当事者のインタビュー



言葉遣いひとつをとっても、表現の仕方と与える印象は大きく変わります。そして、その印象は子どもの成長過程において大きな影響を与えることになるかもしれません。いろいろな人がいて、お互いに尊重し合える、LGBTQにおいても安心して環境を作り上げていくためにも、まずはできることから意識することが大切です。

動画 5 『もし子どもにカミングアウトされたら』

子どもからカミングアウトをされたらどのような言葉をかければ良いのか、当事者が感じたことを踏まえて理解します。

保護者の受止について



LGBTQ 当事者の方が、自身が当事者だと気付くタイミングは様々です。大人になってから気付く方もいれば、幼稚園や保育園などに入る前の段階から違和感に気付く方もいます。LGBTQ 当事者であるかどうかは、一人ひとりが持って生まれ、自分で認識しているものとされ、保護者をはじめ誰かに責任があるものではありません。

保護者が前向きになる大切さ



子どもに願うことは何でしょうか。子どもの幸せが一番ではないでしょうか。性的指向や性自認を伝えるということはとても勇気がいることです。親へのカミングアウトは、子どもにとっては一生忘れられないものになります。しっかりと受け止め、愛情を伝えましょう。

LGBTQ に関する社会的な理解



「(LGBTQ の方は)普通に生きられないのでは…」と思われる方もいるかもしれません。近年 LGBTQ の方への制度等を整えている企業が日々増えるなど、社会は確実に変化をしています。また、一人ひとりの認識が確実に変化をしてきています。

LGBTQ 当事者の子を持つ保護者の方のインタビュー



みなさんはどのように自分の性別を認識していますか。単に「男だから」「女だから」というだけで、特に理由もない人も多いのではないのでしょうか。子どもも同じです。保護者であってもそれを強制できるものではありません。子どもからカミングアウトをされたら、しっかりと子どもの意見を尊重しつつ、無条件の愛を伝えましょう。

動画 6 『カミングアウトをした子どもを受け止め、支えるために大切なこと』

子どもからのカミングアウト時にどのように対応し、カミングアウトを受けた後にどのようにサポートするか、当事者が感じたことを踏まえて理解します。

子どもから相談をされたとき



性別はグラデーションのように一人ひとり異なります。まったく同じ人はいないため、特定の性的指向や性自認に対して決まった対応をすれば良いということではありません。目の前にいる子どもが何を考えどう思っているか、偏見を持たずに耳を傾け、子どもの意見をしっかりと尊重しましょう。

環境面でのサポート



LGBTQ に関する話をするときに、神妙な面持ちで話をするのではなく、日常会話と同じような雰囲気です話をしましょう。そうすることで、LGBTQ の話題が特別なものではなくなります。このように、話しやすい環境づくりをするなど、保護者ができるサポートをしましょう。

教育現場に携わる方のインタビュー



LGBTQ に関する対応は、こうするのが正解！というものはありません。例えば、同じゲイであっても人によって感じ方や捉え方は異なります。だからこそ、子どもとの対話を通して、一人ひとりの子どもがどうしたいかにしっかりと耳を傾け、それに対して何ができるかを一緒に考えることが大切になります。

1 事前準備

視聴動画の選定：保護者の LGBTQ に関する理解度や学校として保護者に理解してほしい内容を踏まえ、適切な動画を選びましょう。

- ① **【基礎知識編】** 基礎知識の理解が必要な場合 → (例) 動画1か2
- ② **【日常生活編】** 基礎知識はあるが、日常生活の行動まで至っていない場合 → (例) 動画3か4
- ③ **【対応・支援編】** 実際にカミングアウトを受けた際の対応を学ぶ場合 → (例) 動画5か6

活用例： 動画の活用例は以下のとおりです。視聴動画の選定の際に参考にしてください。

- ① **【基本的な活用】** 6つの動画のうち1つを選んで視聴する。
- ② **【組み合わせ活用】** 6つの動画のうち2つを選んで幅広い理解を進める。
(例1) 基本的な知識に加え、子どもが安心できる環境づくりについて理解を深めてもらいたい場合 → 動画1+動画4
(例2) 保護者の基本的な知識が十分であるため、子どもが安心できる環境づくりやカミングアウトの対応について理解を深めてもらいたい場合 → 動画4+動画5
- ③ **【発展的な活用】** 基本的な知識を前提に、実際の対応方法を深める。
(例) 保護者の基本的な知識が十分であるため、日常生活で改善できる点やカミングアウトを受けた際の対応、カミングアウトを受けた後の子どもの支援方法などを保護者に考えてもらいたい場合 → 動画4、5、6のいずれか1つの視聴+グループワーク

資料の準備： ① 必要な資料の準備

視聴動画、ワークシート、グループワーク記録用紙、アンケート等

※ ワークシート(例)(P17~22)、グループワーク記録用紙(例)(P23)
アンケート(例)(P24)を参照

② 補助資料の準備

性の多様性に係る児童生徒用リーフレット「たくさんの色 ふれ合おう。」(P29参照)など、児童生徒の発達段階や保護者の理解度に応じて準備をしましょう。

時間の設定： 動画により再生時間が異なります。動画の視聴時間を踏まえて、適切な時間を確保しましょう。

動画1・・・13分52秒

動画2・・・13分18秒

動画3・・・12分26秒

動画4・・・22分01秒

動画5・・・18分13秒

動画6・・・11分05秒

2 実施

目的の共有： 視聴する動画ごとの目的を共有しましょう。

感想等の共有： 動画視聴後、話し合いの時間やグループワークを設け、動画を振り返り、感想や意見等を共有しましょう。話し合いを行いやすくするため、テーマを提示しても良いでしょう。(テーマ例については、展開例を参照)。個人のプライバシーを尊重し、個別の経験や意見を無理強いしないように注意しましょう。

アンケート： 保護者の理解度を把握し、今後の指導や学校生活環境の改善に活用しましょう。また、次回の視聴の検討材料にしましょう。

3 注意点

個人情報の扱い： 個人の性的指向、性自認については口外しないように注意してください。また、自身のカミングアウト(開示)もしないよう注意してください。

当事者詮索の禁止： 「だれが LGBTQ 当事者なのか」を絶対に詮索しないように注意してください。

動画活用の展開例

基本的な活用の展開例（動画1を選択した場合）

1 導入(1~2分)

・挨拶と目的の説明

本日は、保護者の皆様に性の多様性について基本的な知識を理解していただくために、動画を視聴していただきたいと思います。

動画視聴後には5分程度の話し合いを予定しておりますので、メモを取るなどの御準備をお願いいたします。また、ワークシートも用意しましたので、御活用ください。

2 動画視聴(15分程度)

※ 動画1・・・13分52秒

3 話し合い(5分程度)

・グループ分け(1分)

それでは、周りの3~4人の小グループで話し合いをしていただければと思います。

動画を見ての感想や意見等でも結構ですので、話し合ってください、それぞれの考えを共有していただければと思います。

※ 話し合い中

グループ内で自由に感想や意見を聞いて、まとめの材料にします。

話し合いが停滞している場合には、テーマを提示するなど、話し合いを促進するような働きかけを行いましょう。

※ テーマの提示(例)

「動画の中で新たに得られた知識は何か」「今日学んだことを日常生活でどのように活かしていけるか」など。

4 まとめ(2~5分)

・まとめ

本日は、LGBTQ について理解を深めていただきました。話し合いの中で、〇〇〇という声があり、私自身も新たな気付きとなりました。大変ありがとうございました。本日学んだことを日常生活でも活かしていただきたいと思います。

※時間があれば、話し合いの内容に多く言及しましょう。

・フィードバックのお願い

アンケートに御協力ください。今後の教育活動の参考にさせていただきます。

組み合わせ活用の展開例（動画1と4を選択した場合）

1 導入(1~2分)

・挨拶と目的の説明

本日は、保護者の皆様に LGBTQ に関する基本的な知識に加え、当事者を含めた子どもが安心して生活できる環境づくりについて理解を深めていただくために、動画を2本視聴していただきたいと思います。

動画視聴後には5分程度の話し合いを予定しておりますので、メモを取るなどの御準備をお願いいたします。また、ワークシートも用意しましたので、御活用ください。

2 動画視聴(35分程度)

※ 動画1・・・13分52秒 動画4・・・22分01秒

3 話し合い(5分程度)

・グループ分け(1分)

それでは、周りの3~4人の小グループで話し合いをしていただければと思います。

動画を見ての感想や意見等でも結構ですので、話し合ってください、それぞれの考えを共有していただければと思います。

※ 話し合い中

グループ内で自由に感想や意見を聞いて、「まとめ」の材料にします。

話し合いが停滞している場合には、テーマを提示するなど、話し合いを促進するような働きかけを行いましょう。

※ テーマの提示(例)

「動画の中で新たに得られた知識は何か」「当事者を含めた子どもが安心して生活できる環境づくりのために、日常的に配慮できることは何か」など。

4 まとめ(2~5分)

・まとめ

本日は、LGBTQ について理解を深めていただきました。話し合いの中で、〇〇〇という声があり、私自身、子どもたちへの接し方や学級運営にも活かしていきたいと思いました。ぜひ本日学んだことをご家庭でも活かしていただければと思います。

※時間があれば、話し合いの内容に多く言及しましょう。

・フィードバックのお願い

アンケートに御協力ください。今後の教育活動の参考にさせていただきます。

発展的な活用の展開例（動画5+グループワークの場合）

1 導入(1~2分)

・挨拶と目的の説明

本日は、保護者の皆様に子どもから LGBTQ に関することをカミングアウトされた際の対応について理解を深めていただくために、動画を視聴していただきたいと思います。動画視聴後にはグループワークを予定しておりますので、メモを取るなどの御準備をお願いいたします。また、ワークシートも用意しましたので、御活用ください。

2 動画視聴(20分程度)

※ 動画5・・・18分13秒

3 グループワーク(15分)

・グループ分け(2分)

それでは、周りの3~4人の小グループで話し合いをしていただければと思います。

まず、簡単に自己紹介をしてください。

次に、記録の方を決めてください。記録の方は、記録用紙にグループワークで話し合った内容を記録してください。

グループワークのテーマは、〇〇〇になります。このテーマについて話し合ってください、それぞれの考えを共有していただければと思います。

※グループワーク記録用紙(P23参照)

※テーマの提示(例)

「カミングアウトをされた際の具体的な対応について」、「子どもからカミングアウトをされたらどのような言葉をかければ良いのか」など。

※グループワークの実施(13分)

グループ内で自由に感想や意見を聞いて、「まとめ」の材料にします。

4. まとめ(2~5分)

・まとめ

本日は、グループワークを行い、LGBTQ について理解を深めていただきました。グループワークの中では、〇〇〇という声があり、保護者の方々の子どもの大きな愛情を感じました。私自身、これまで以上に大切なお子様に愛情を注いでいきたいと思います。

※時間があれば、グループワークの内容に多く言及しましょう。

・フィードバックのお願い

各グループの記録の方、どうもありがとうございました。終了後、こちらに記録用紙を御提出ください。

また、アンケートに御協力ください。今後の教育活動の参考にさせていただきます。

各動画のワークシート例

動画 1 『LGBTQとは』

性の多様性について基本的な知識を理解します。

性のあり方とは

あなたは、自分の性別をどのように捉えているでしょうか。性別の捉え方には、「()」「()」「()」「()」という視点があり、その捉え方は一人ひとり多様です。



LGBTQとは

LGBTQ とは、「L が()」、「G が()」、「B が()」、「T が()」「Q が()や()」を表します。セクシュアリティマップで、様々な性の組み合わせを理解しましょう。また、LGBTQは、性的マイノリティの総称として用いられることが多い言葉です。



SOGI とは

() (Sexual Orientation) と () (Gender Identity) を表している「()」は、当事者だけではなく、すべての方に関わる多様な性のあり方を捉えるうえで大切な言葉です。性的指向や性自認は()であり、周囲の人が決定するものでもなければ、強制されるものでもありません。



一人一人の性のあり方は多様である

性自認や性的指向は明確に枠にはめて決められるものではなく、一人ひとり()のように異なっています。どのような人を好きでも、どのように自身の性別を認識していても、それはその人自身が決めることです。一人ひとりが自分らしくいられるように、それぞれの認識を尊重し合うことが大切です。



動画 2 『理解者の必要性』

「アライ」とはそもそもどういった人を指す言葉か、どのような行動をする人を「アライ」というのか、当事者が感じたことを踏まえて理解します。

アライとは

LGBTQ を()し、()しているまたは支援したいと思う人のことをアライといいます。LGBTQ 当事者にカミングアウトされたとき、その気持ちを受け止めて話を聞くことも、アライとしての行動になります。



アライの必要性について

今、社会では LGBTQ についての関心が高まり、支援の取組が活発になっています。一方で、()によって、LGBTQ 当事者が過ごしづらさや不安を感じることも多くあります。アライが身近にすることで、LGBTQ 当事者が過ごしやすく感じたり、悩みや不安を軽減したりすることにつながります。



理解や支援のための心遣いとは

実際にアライとしてどのような行動をすればよいのでしょうか。例えば、「男性なら～」という考えや「女性だから～」というような()を前提とした言葉ではなく、一人ひとり個人を尊重した「()」を大切にされた表現をしたり、LGBTQ 当事者の方から相談を受けた際に悩みを解消できるように一緒に考えたりすることもアライの行動の一つです。



LGBTQ 当事者インタビュー

「保健室の先生に相談したんです」という LGBTQ 当事者の方がいる一方で、「先生に相談しようという発想もなかった」「相談する手立てがなかった」という方も…。理解者として頼りにした人には、どのようにしてほしかったのか。また、()の大人の行動が与える子どもへの影響とはどういったものなのか。



動画 3 『多様性を尊重することの大切さ』

性の多様性が尊重され他者との違いを認め合えるように、子どもへの伝え方を理解します。

保護者の心構え

性別は男性・女性の二通りだけではなく、()です。異性を好きになる方もいれば、同性を好きになる方もいます。また、服装や話し方などの()も一人ひとり異なります。性的指向や性自認、あるいは性表現は、明確に決められるものではなく、一人ひとり異なり()のようになっています。



多様性の伝え方

例えば、唐揚げが好きな子どもに「周りのお友達がみんなハンバーグを好きで、あなただけが唐揚げを好きだったとして、それっておかしいことだと思う？」とか「自分が好きなものは好きでいたいよね」というように、()の話にこだわるのではなく、食べ物やスポーツなど、子どもが()に置き換えて話をしましょう。



多様性はみんなに関わるもの

()は、LGBTQ に限ったことではありません。例えば、リンゴを食べない子の中には、リンゴが嫌いな子もいれば、アレルギーなどで食べられない子もいます。必ずしも好き嫌いだけが理由なのではなく、いろいろな()や()を持っています。()や()などによって、それぞれの価値観があります。そして、あなたも多様な人の中の1人です。



他者との違いを受け止める

「周りの人と違うから」ということで、他の人の考えを否定してよい理由になりません。また、「こういう人は苦手」と特定の人の人に対して想いを持っている人も、自分が()だからといって、誰かを()して良いことにはなりません。様々な考え方や捉え方があって、それぞれが尊重し合うことで、みんなが気持ちよく過ごせる社会を作ることに繋がります。



動画 4 『安心感を生む環境づくり』

子どもが安心して生活できる環境づくりをするために、日常的に配慮すべき点を当事者が感じてきたことを踏まえて理解します。

日常生活において LGBTQ についての理解を深めるために

日常生活において、「男だから～」「女らしく～」といった（ ）でくるような言葉遣いは、（ ）についての考えを押し付けることになり、（ ）を招く恐れがあります。また、テレビ等で LGBTQ に関するものが流れた時の（ ）や表現にも配慮が必要です。



子どもが安心して生活できる環境づくり

子どもが話しやすい環境を作ったり、（ ）や思い込み、（ ）を助長するような言動を控えたりするなどは、子どもが安心して生活できる環境づくりに大切です。子どもは大人の行動や発言、雰囲気などをよく見て感じており敏感に察知します。大人が（ ）を発し、それが積み重なることで子どもの（ ）を高めることに繋がります。



LGBTQ 当事者のインタビュー

言葉遣いひとつをとっても、表現の仕方と与える印象は大きく変わります。その印象は子どもの（ ）において大きな影響を与えることになるかもしれません。いろいろな人がいて、お互いに尊重し合える、LGBTQ においても安心して生活できる環境を作り上げていくためにも、まずはできることから意識することが大切です。



動画 5 『もし子どもにカミングアウトされたら』

子どもからカミングアウトをされたらどのような言葉をかければ良いのか、当事者が感じたことを踏まえて理解します。

保護者の受止について

LGBTQ 当事者の方が、自身が当事者だと気付くタイミングは様々です。()になってから気付く方もいれば、幼稚園や保育園などに入る前の()の段階から違和感に気付く方もいます。LGBTQ 当事者であるかどうかは、一人ひとりが持って生まれ、()しているものとされ、()をはじめ誰かに責任があるものではありません。



保護者が前向きになる大切さ

子どもに願うことは何でしょうか。()が一番ではないでしょうか。性的指向や性自認を伝えるということはとても()がいることです。親へのカミングアウトは、子どもにとっては一生忘れられないものになります。しっかりと()、()を伝えましょう。



LGBTQ に関する社会的な理解

「(LGBTQの方は)普通に生きられないのでは…」と思われる方もいるかもしれません。近年 LGBTQ の方への()等を整えていたりする企業が日々増えるなど、社会は確実に変化をしています。また、一人ひとりの()が確実に変化をしてくれています。



LGBTQ 当事者の子を持つ保護者の方のインタビュー

みなさんはどのように自分の性別を認識していますか。単に「男だから」「女だから」というだけで、特に理由もない人も多いのではないのでしょうか。子どもも同じです。保護者であってもそれを()できるものではありません。子どもからカミングアウトをされたら、しっかりと子どもの()を尊重しつつ、無条件の()を伝えましょう。



動画 6 『カミングアウトをした子どもを受け止め、支えるために大切なこと』

子どもからのカミングアウト時にどのように対応し、カミングアウトを受けた後にどのようにサポートするか、当事者が感じたことを踏まえて理解します。

子どもから相談をされたとき

性別はグラデーションのように一人ひとり異なります。まったく同じ人はいないため、特定の性的指向や性自認に対して決まった対応をすれば良いということではありません。目の前にいる子どもが何を考えどう思っているか、偏見を持たずに耳を傾け、()をしっかりと尊重しましょう。



環境面でのサポート

LGBTQ に関する話をするときに、神妙な面持ちで話をするのではなく、()と同じような雰囲気話をしてください。そうすることで、LGBTQ の話題が特別なものではなくなります。このように、()をするなど、保護者ができるサポートをしましょう。



教育現場に携わる方のインタビュー

LGBTQ に関する対応は、こうするのが正解！というものはありません。例えば、同じゲイであっても人によって()や捉え方は異なります。だからこそ、子どもとの()を通して、一人ひとりの子どもがどうしたいかにしっかりと耳を傾け、それに対して何ができるかを()ことが大切になります。



グループワーク記録用紙(例)

グループ番号: _____

記録担当: _____

グループメンバーの名前: _____

テーマ:『

』

<話し合った内容を記入してください。>

アンケート(例)

- 1 LGBTQに関する理解が深まりましたか。5段階で評価し○をつけてください。また、そう考えた理由があれば御記入ください。

非常に深まった 深まった どちらでもない あまり深まらなかった 全く深まらなかった
5 4 3 2 1

(理由)

- 2 話し合いについて、5段階で評価し○をつけてください。また、そう考えた理由があれば御記入ください。

非常に有意義だった 有意義だった どちらでもない あまり有意義ではなかった 全く有意義ではなかった
5 4 3 2 1

(理由)

- 3 今回学んだことは、日常生活で活かせると感じますか。5段階で評価し○をつけてください。また、そう考えた理由があれば御記入ください。

非常に活用できる 活用できる どちらでもない あまり活用できない 全く活用できない
5 4 3 2 1

(理由)

- 4 感想や改善点等があれば御記入ください。(自由回答)

保護者宛て通知(例)

令和〇年〇〇月〇〇日

保護者の皆様

〇〇立〇〇学校長

保護者向け啓発動画「LGBTQについてみんなで学ぼう」の視聴について

日頃より、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。
埼玉県教育委員会では、LGBTQについて理解を深め、全ての児童生徒が安心して学校生活を送ることができることを目的に、下記のとおり保護者の方に向けた啓発動画を公開しております。

本校といたしましても、社会的な状況や性の多様性を尊重するという観点から、児童生徒、教職員はもちろん保護者の方にもLGBTQへの理解を深めていただきたいと考えております。

動画では、LGBTQについての基本的な知識をはじめ、カミングアウトをされた時の対応についても紹介されており、お子様への接し方や日常生活でのサポートについて改めて考える機会となりますので、ぜひ御視聴ください。

記

1 動画の内容

	タイトル	時間 (約)
1	LGBTQとは	1 4分
2	理解者の必要性	1 3分
3	多様性を尊重することの大切さ	1 3分
4	安心感を生む環境づくり	2 2分
5	もし子どもにカミングアウトされたら	1 8分
6	カミングアウトをした子どもを受け止め、支えるために大切なこと	1 1分

2 動画の視聴方法

以下のURLまたはチラシに掲載されている二次元コードから県のホームページ（動画のページ）にアクセスしてください。

再生リストURL

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLlsbJ-MJUQAKVWMHFBhzHia7VrYq2TkDc>

連絡先：教頭 〇〇 〇〇
電 話：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

LGBTQについて みんなで学ぼう



LGBTQについて、
基礎的な知識や当事者の
インタビューを交えながら、
保護者の方向けに
解説する動画です。

埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」



内容

👤 印はインタビューあり

- 動画1 (約14分) LGBTQとは
- 動画2 (約13分) 👤 理解者の必要性
- 動画3 (約13分) 多様性を尊重することの大切さ
- 動画4 (約22分) 🌱 安心感を生む環境づくり
- 動画5 (約18分) 👤 もし子どもにカミングアウトされたら
- 動画6 (約11分) 👤 カミングアウトをした子どもを受け止め、支えるために大切なこと



動画は
こちらから



埼玉県教育局人権教育課

電話 048-830-6786

E-mail a6890-04@pref.saitama.lg.jp

制作：一般社団法人CialFrame（シャルフレーム）

本資料ではLGBTQをいわゆる性的マイノリティの総称として用いています。

性の多様性関連用語集

アウトティング	ある人のセクシュアリティを、その人の同意なしに周囲に言いふらしてしまうこと
アセクシュアル(無性愛者)	恋愛感情や性的欲求をもたない人。「A(エイ)セクシュアル」ともいう。
アライ(Ally)	自分のジェンダーやセクシュアリティにかかわることだけではなく、自分とは異なるジェンダーやセクシュアリティをめぐる差別問題を自分の問題として理解し、行動する人。
Xジェンダー	男性、女性、どちらでもない、もしくは、どちらでもある性別として生きたい人。海外ではノンバイナリティ(NB)、ジェンダーキアともいう。
LGBT(LGBTQ)	レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字を取り、それぞれの差異と連帯を表した言葉。クエスチョニングを加えてLGBTQと表す場合もある。
カミングアウト	これまで公にしていなかった自分のセクシュアリティを自分の意志で他の人に伝えること。閉じこもっていたクローゼットから表に出ていくことが語源とされている。 (Coming out of the closet)
クエスチョニング	自らのジェンダー／セクシュアリティについて、明確なアイデンティティをもっていない(あるいは、より積極的にもたない)人。あるいは、性自認や性的指向の区分自体に疑問を感じ、あえてもたない人。キアともいう。
シスジェンダー	生まれたときに割り当てられた性別と、自分が社会的、感情的、身体的に認識している性別(性自認)とが一致していること／人。多数の人がシスジェンダーであり、「普通」「当たり前」とはいわない。
ジェンダー	人を「女」「男」という2つのカテゴリーに分別する、社会的文化的な規範ないし観念。
性自認(ジェンダー・アイデンティティ／性同一性)	自らをどんな性別である／ない、と考えるのかなど、自分が社会的、感情的、身体的に認識している性別のアイデンティティ。
ジェンダー・バイアス	性別による偏見や固定観念。「男らしさ」「女らしさ」は、性別により固定されるものではない。
ジェンダー・フルイド	固定的な性自認をもたず、流動的な性を自認して生きること／人。
性的指向(セクシュアル・オリエンテーション)	自分がどのような性別の人に性的・恋愛的に惹かれるか、惹かれられないか、という方向性のこと。

性同一性障害（Gender Identity Disorder : GID）	身体の性に違和感、不快感をもち、体を変え、性自認と一致した性で生きたいと強く望む人が治療を受ける際の診断名。なお、「性同一性障害」の位置付けは、WHOによるICD-11（国際疾病分類）では、「精神疾患」及び「障害」から除外され、性の健康状態における「性別不合（gender incongruence）」に変わった。
性別表現／性表現	服装や髪形などの見た目や、言動などで表現される性。「ジェンダー・エクスペッション」ともいう。
生物学的な性（セックス）	生物としてのヒトを「メス」「オス」という2つのカテゴリーなどに分別する生物学・解剖学的知見。
セクシュアリティ	人間の多様な性のあり方の総称。社会的、生物学的、心理的、法的、文化的などの側面を含む。
セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）	その人の性のあり方がマジョリティ（多数者）とは異なる場合、セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）と呼ぶ。LGBTQなどを含む。
SOGI（ソジ、ソギ）	Sexual Orientation（性的指向）and Gender Identity（性自認）の頭文字をとった言葉。性的に多数派にあたる人とセクシュアル・マイノリティの人を区別せず、すべての人の性の多様性について考えることができる概念として国際的に用いられている。また、Expression（性表現）を加えた「SOGIE」（ソジー）などの言葉も使われる。
トランスジェンダー	生まれたときに割り当てられた性別とは異なる性別で生きること／人。生まれたときに男性が割り当てられたが、女性として生きる人／生きたい人をトランス女性（MTF [Male to Female]）といい、生まれたときに女性が割り当てられたが、男性として生きる／生きたい人をトランス男性（FTM [Female to Male]）という。
バイセクシュアル（両性愛者）	性的指向が異性と同性の両方に向いていること／人。
パンセクシュアル（全性愛者）	相手の性別、セクシュアリティにかかわらずすべての人が性愛の対象となること／人。
ヘテロセクシュアル（異性愛者）	自分の性自認からみて性的指向が異性に向いていること／人。
ホモセクシュアル（同性愛者）	自分の性自認からみて性的指向が同性に向いている人。女性同性愛者は「レズビアン」、男性同性愛者は「ゲイ」という。*ホモやレズといった省略形は差別的に響く。

人権教育課 HP 掲載資料の紹介

○各資料はリンクからダウンロードして御活用ください。

学校における性の多様性尊重取組シート（教職員用）

性の多様性を尊重した教育を推進する上での配慮や支援が必要な事項について掲載した資料です。学校が組織的に取り組むことで、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるようにすることを目的としています。

- (1) [学校における性の多様性尊重取組シート（PDF：1,655KB）](#)
- (2) [学校における性の多様性尊重取組シート（エクセル：18KB）](#)

性の多様性に係る児童生徒用リーフレット

「たくさんの色 ふれ合おう。」

本リーフレットは、授業等で活用し、児童生徒の性の多様性の理解を深め、性的指向や性自認で悩みを抱える児童生徒が自分の悩みを相談しやすい環境づくりに繋げることを目的としています。

[児童生徒用リーフレット（小学校 5・6 年生版）](#)
(PDF：568KB)

[児童生徒用リーフレット（中学・高校生版）](#) (PDF：549KB)



児童生徒用リーフレット指導資料集

性の多様性に係る児童生徒用リーフレットを活用した授業を行うための指導資料です。性の多様性についての基礎知識、授業展開例、ワークシート等を収録しています。

[児童生徒用リーフレット指導資料集\(全体ダウンロード\)](#) (PDF：2,099KB)

[【01_表紙・目次】](#) (PDF：114KB)

[【02_性の多様性についての基礎知識】](#) (PDF：733KB)

[【03_授業展開例・活用にあたっての留意点】](#) (PDF：125KB)

[【04_小学校授業展開例 1】](#) (PDF：118KB)

[【05_小学校授業展開例 2】](#) (PDF：162KB)

[【06_中学校授業展開例 1】](#) (PDF：687KB)

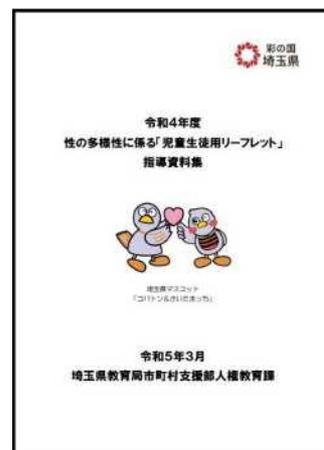
[【07_中学校授業展開例 1\(添付資料\)】](#) (PDF：443KB)

[【08_中学校授業展開例 2】](#) (PDF：116KB)

[【09_高等学校授業展開例 1】](#) (PDF：612KB)

[【10_高等学校授業展開例 2】](#) (PDF：133KB)

[【11_参考資料等】](#) (PDF：270KB)



性の多様性に係る教職員用リーフレット

「ひとりひとりが 自分らしく生きる ～多様な性が尊重され、違いを認め合える社会へ～」

本リーフレットは、全ての教職員が性の多様性について理解し、全てのセクシュアリティの児童生徒が安心して通うことができる学校づくりを推進することを目的としています。各学校等の研修や学校全体の取組及び相談対応等、様々な機会や場面における理解啓発資料として活用することができます。

[教職員用リーフレット \(PDF : 1,105KB\)](#)



リーフレットの活用にあたって (資料)

本資料は、性の多様性に係る教職員用リーフレットの活用にあたり、全ての教職員に理解していただきたい基本的な情報やポイントについて説明したものです。

[「\(別紙\) 教職員用リーフレットの活用にあたって」 \(PDF : 180KB\)](#)

[「\(動画説明用配布資料\) リーフレットの活用にあたって」 \(PDF : 1,254KB\)](#)

性の多様性に係る相談対応ハンドブック (教職員用)

教職員が児童生徒、保護者の方などから性の多様性に関する相談を受けた際に参考としていただく資料です。

[性の多様性に係る相談対応ハンドブック \(教職員用\) \(PDF : 509KB\)](#)